



新どさんご研究所 銭湯で学ぶカルチャースクール「ふろカル」
第2弾の講師は気鋭の着物スタイリスト Cadbunny
「ゆかたの味方～きっと着たくなる和装入門～」



株式会社北海道博報堂（札幌市中央区）の研究組織「新どさんご研究所（以下、新ど研）」では銭湯から北海道の文化を発信するプロジェクト「ふろカル」の第2弾を開催いたします。人々のコミュニケーションに役立っていたまちの銭湯は、札幌市内でもここ20年で143軒から39軒にまで激減しています（※）。孤立化やつながりが希薄化する中で、改めて銭湯の魅力を発信し地域活性化に貢献していきたい。新ど研は、そのような思いで銭湯を文化の発信基地とするプロジェクトを始動いたしました。

「ふろカル」では、北海道内で活躍する人を特別講師に迎え、銭湯のロビーや脱衣所を教室にしたカルチャースクールを開校いたします。

第2回開催概要

日時	2019年6月8日(土)13:00～14:30（開場12:30）
会場	福の湯 札幌市北区新琴似7条6丁目6-1
講師	Cadbunny(桑原奈穂)
参加費	せんとう 1,010円(入浴料込)
定員	30名程度

※ 厚生労働省「衛生行政報告例」等より

◎ふろカルの詳細、お申込みは特設サイトをご覧ください。特設サイト：<http://www.fulocal.net>

◎開催当日、取材対応させていただきます。
お問い合わせ、ご質問などは下記お問い合わせ先までお願い致します。

着物スタイリストが提案する浴衣の着こなし術

第2弾は、福の湯（札幌市新琴似）において、着物スタイリストであるCadbunny / Naho KUWAHARA氏を講師にお招きします。伝統に縛られない革新的な着物のスタイリングとそのカリスマ性は、カルチャーに敏感な幅広い世代から支持されています。今回のふるカルは、「ゆかたの味方」と題し、江戸時代から続く銭湯と浴衣の文化を学びながら、これから花火・夏祭りシーズンを迎える初夏にふさわしい、Cadbunny流の浴衣の着こなし方を伝授いただきます。会場ではCadbunnyの世界観を表現したPOP UPやアイテムも販売いたします。セミナー後はもちろんひと風呂浴びて、日頃の疲れを癒してください。

■講師紹介



Cadbunny / Naho KUWAHARA

着物の要、絹。絹の始まり、お蚕。養蚕職人と和裁師の血を引き、幼い頃から着物と慣れ親しむ。グラフィックデザインを基軸にしつつ古くて新しいヴィンテージ & アンティーク着物の魅力を伝えたいと“お着物を日常的に、もっと身近に”をコンセプトに2017年プライベート着物サロン【客間】をオープン。独自のスタイルで、着物と仲良くなる近道を提案している。6月14日から3日間、札幌中央区のヴィンテージショップ内で客間のPOP UP SHOPを開催予定。

■会場紹介



福の湯

1971年創業。札幌市北区の住宅街に位置し、古くから地元住民に親しまれている。現在の屋号である「福の湯」には、「入浴されたお客様が幸福な気持ちになれますように」との願いが込められている。石油式でお湯を沸かす銭湯が主流とされる中、材木を利用し沸かしており、利用客からは「お湯が軟らかい」と評判である。

ふるカル最新情報は、SNSで。

この度、ふるカル公式アカウントを下記SNSにおいて開設しました。ふるカルに関する最新情報はSNSをご覧ください。



@fulocal



@fulocal



@fulocal_net

【新どさんご研究所（新ど研）概要】



北海道民の今の姿をデータで明らかにしながら、「一步先の北海道民＝新どさんご」と定義して、その変化を予測・提言する(株)北海道博報堂が設立した研究組織。

所長：山岸 浩之
<プロフィール>

2014年北海道博報堂入社。
コミュニケーション戦略局長兼マーケティング部長として、北海道の様々なクライアントの戦略立案やリサーチを担当。